

取付説明書



X900

9型 ワイドVGA LED液晶 SDナビ

X800

8型 ワイドVGA LED液晶 SDナビ

700W

200mmコンソール7型 ワイドVGA LED液晶 SDナビ

700D

7型 ワイドVGA LED液晶 SDナビ

販売店様へ

製品取り付け終了後、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本取付書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

<電話でのお問い合わせ>
TEL: 0570-006636
※全国どこからでも市販店料金をご利用いただけます。
(営業時間: PH: 20時~10時)
<メールでのお問い合わせ>
ホームページのお問い合わせフォームよりお問い合わせいただけます。

<FAXでのお問い合わせ>
FAX: 048-662-6676

● 電話受付時間(日、祝日、弊社休業日を除く)
月~金: 9:30~17:30
土曜日: 9:30~12:00
● ALPINEホームページ
ALPINE製品に関してのご質問・回答をご案内いたします。

ALPINE株式会社 Printed in Japan (Y-736_A1)
Designed by ALPINE Japan 68-26018256-B

必ずお読みください

- ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に残しておいてください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いません。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に取り付けを依頼してください。

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本取付書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関する情報をお買い上げ店より入手してください。
- 車のインパネ等の取り付け取り外し情報をお買い上げ店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分であることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているテープや本説明書を参照しながら、注意して行ってください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご確認ください。
- 取り付け場所について、ディスクやCD/DVDの入し出しの際、車のシフト操作に支障がないことを確認の上取り付け場所を決定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めして、コードの長さが十分にあること、およびテレビ、ラジオにノイズが入らないことを確認してください。
- 不明な点はお問い合わせください。インフォメーションセンターにお問い合わせください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を表示しています。

■お守りいただく内容の説明

	必ず実行していただく強制の内容を示しています。		注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。
	禁止(やめてはいけないこと)の内容を示しています。		

取り付け・接続

警告

- 強制** DC12Vマシナースーツ専用です。24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する。取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。

説明書に従って、取り付け・配線をする作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする際、ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する。シールドにより、火災や感電、故障の原因になります。

安全のため、パーキングブレーキ線は必ず接続する。交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっていきます。

ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る。事故・火災・故障の原因になります。

電池・ネジなどの小物は、幼児の手が届かないところに保管する。誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける。取り付け不良による事故の原因になります。

1. はじめに

1 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。

■ X900/700W専用付属部品 電源コード ×1 ステアリングリモートケーブル ×1	■ 700D専用付属部品 電源コード ×1
■ 共通付属部品 <接続ケーブル類> カメラコード ×1 スピードセンサー延長コード ×1 外部出力コード ×1 フロント/リア出力端子 ×1 圧着コネクタ ×1	
<フィルムアンテナ取付用品一式> フィルムアンテナ (A×2, B×2) ホームページのお問い合わせフォームよりお問い合わせいただけます。 フィルムアンテナ取付用品一式は、取付完了後、フィルムアンテナ接続図を参照してください。	
<GPSアンテナ取付用品一式> GPSアンテナ (2.5m) ×1 アンテナ取付プレート ×1 コードクランプ ×3 バインドネジ (M5×8) ×8 スポンジ ×1 サラネジ (M5×8) ×8 HDMI固定ブラケット ×1	
<その他部品> mMB-CAS ×1 B-CASカード ×1 録音用SDカード ×1 ※本機に挿入済みです。 地図用SDカード ×1 ※地図データ格納済み/本機に挿入済みです。	

X900/X800のお客様へ
X900/X800の取り付けには、「BIG Xパーフェクトフィット」が必要です。
「BIG Xパーフェクトフィット」を使用した取り付けについての詳細は、「BIG Xパーフェクトフィット」に付属の取付説明書を参照してください。
X800の電源コードは、「BIG Xパーフェクトフィット」に同梱されています。

700Wのお客様へ
トヨタ/ダイハツ車の場合は、付属の電源コードとステアリングリモートケーブルを使用してください。ただし、一部非対応の車種があります。
トヨタ/ダイハツ車以外では、別売の電源コードや取付金具等が必要な場合があります。

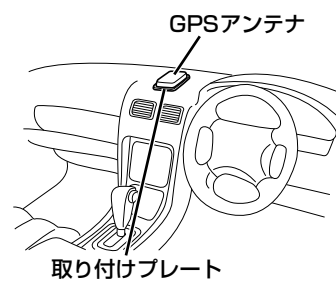
- 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。
- バッテリーのマイナス端子を外す。
コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消える場合があります。
一部の車種(外国車等)では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。
- 灰皿、小物入れ等を外し、パネル(インパネ)を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、「5. ナビゲーション本体を取り付ける」で利用します。)

2. GPSアンテナを取り付ける

- 注意** エアバッグ作動時に、その動作を妨げる場所への取り付け、配線は行わないでください。
- GPSアンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- GPSアンテナには、塗装しないでください。劣化性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナは車外に取り付けください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります。
- GPSアンテナ取り付けの際は、TVアンテナケーブルとGPSアンテナが近づくこと(15cm以内)、GPSが受信できない場合があります。
- 別売のETC車載器やビーコンユニット等他機器と近づけて取り付けると、お互いに影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意ください。他機器とは十分な間隔を確保してください。なお、ナビゲーション本体とも50cm以上離れて取り付けください。

1 GPSアンテナをダッシュボードに取り付ける。

- 貼り付け面の汚れを落とすから、取り付けプレートを貼り付けます。
- GPSアンテナ裏面の両面テープの保護紙を剥がして、取り付けプレートにGPSアンテナを取り付けます。
- なるべくガラス面に近い位置に取り付けます。



2 コードをコードクランプで固定する。

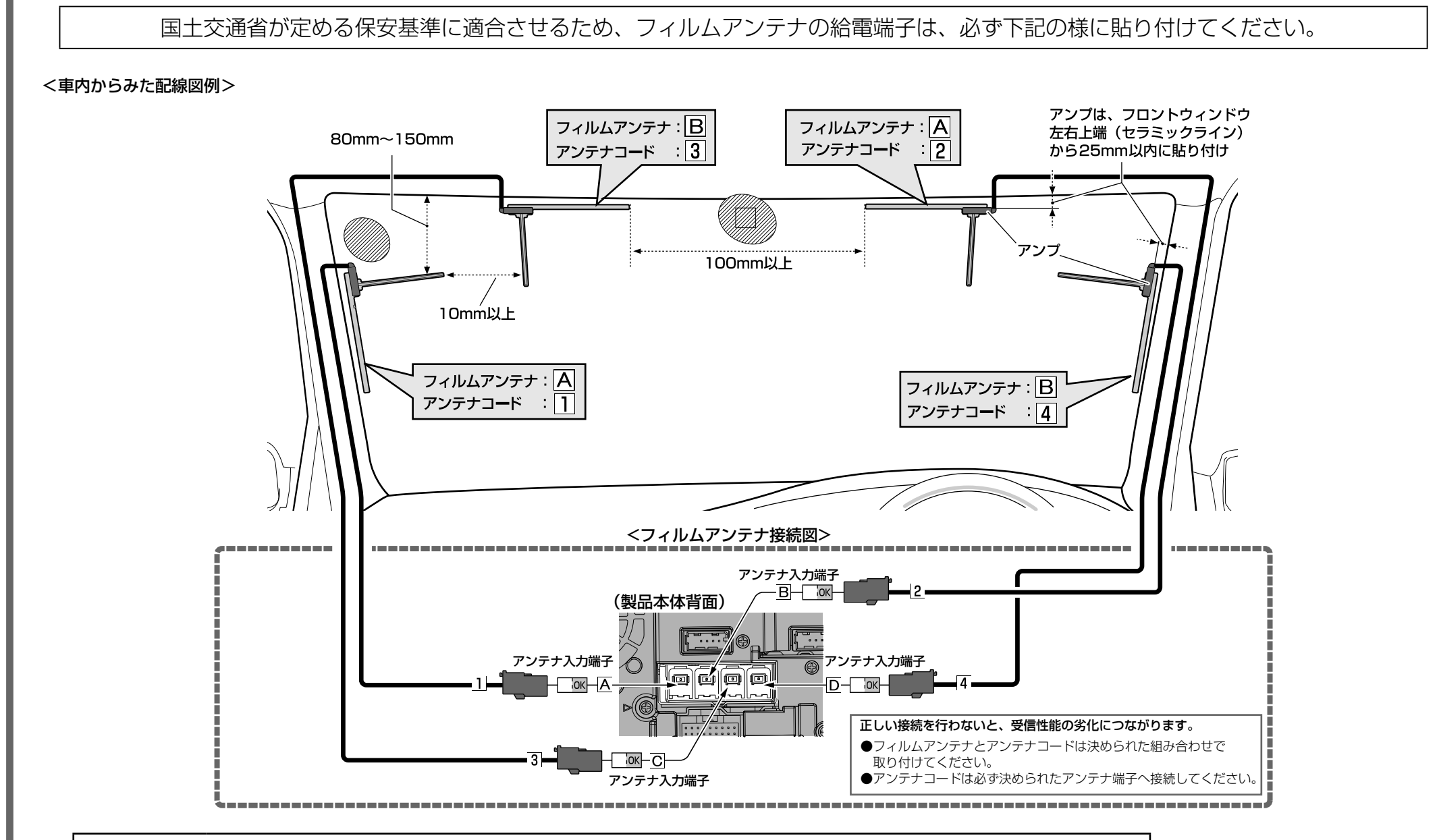
3. フィルムアンテナを取り付ける

- 警告** 前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバー等運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。
- コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダル等に巻き付くと、事故・故障の原因になります。

- 注意** フィルムアンテナは、一度貼り付けたら取り戻しできません。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウ専用です。フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けしないでください。
- フロントピラーにエアバッグを搭載している車には、取り付けすることはできません。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。
- 車種によっては貼り付けられない場合があります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 必ずフロントウィンドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
- 本フィルムアンテナは、セラミッククラインの上に貼り付けても問題ありません。できるだけ車体に近い場所に貼り付けてください。
- フロントウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合やTVアンテナ・FM多重用フィルムアンテナ(別売)等をすでに貼り付けている場合は、各アンテナから10cm以上距離を確保して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して貼り付けてください。
- 作業場所は風が無く、空気が乾燥し、ホコリ等が無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内ヒーターやフロントガラススイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めてから作業を行ってください。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコンモーター等から出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますので故障ではありません。

注意 ● 車種により受信感度が最適になるアンテナの貼り付け位置と組み合わせがあります。詳しくは「BIG Xパーフェクトフィット」付属の取付説明書または、「車種専用フィルムアンテナ取付ガイド」を参照してください。

取付完成概略図

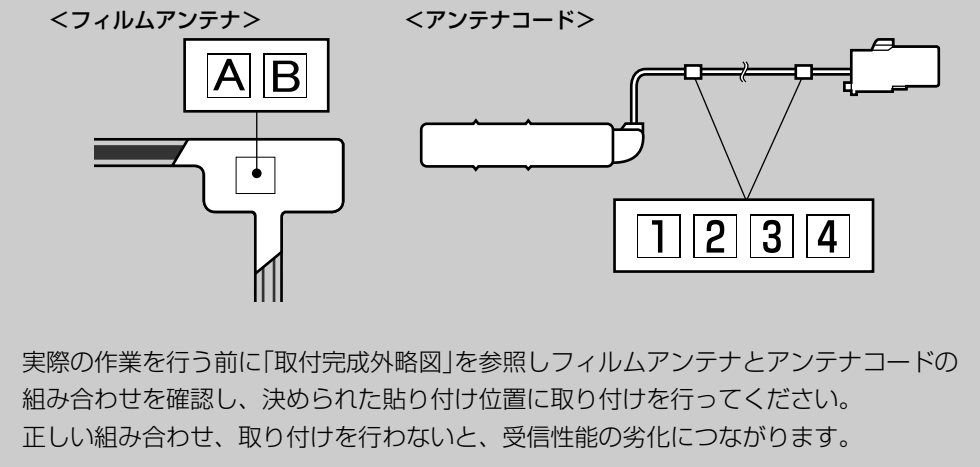


注意 ● 図の斜線部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けしないでください。
● アンテナコードの引き出し方向は、本取付完成概略図を参照してください。

- アプリケーションフィルムの端をフロントウィンドウ貼り付け位置に合わせて、端から貼り付ける。
 - 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
 - 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。
 - アンテナのアプリケーションフィルム(糊付きフィルム)から、ゆっくりとタグ「I」部のセパレーター(透明フィルム)をはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。
 - 続けて、タグ「II」部をゆっくりとはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。
 - アプリケーションフィルムにアンテナが残るように、透明のセパレーターをはがしてください。セパレーターをはがした状態は、車内から見たアンテナのパターンは灰色、糊面は黒色になります。
- セパレーター側にアンテナが残った場合には
- アプリケーションフィルムを元に戻してアンテナを上から強くこすり、再度セパレーターをはがします。アプリケーションフィルムにパターンが移っていることを確認しながら、ゆっくりはがしてください。
 - 最初はアプリケーションフィルムにパターンがあっても、途中からセパレーターに糊が残ります。その場合もアプリケーションフィルムを元に戻してアンテナを上から強くこすり、再度セパレーターをはがしてください。

- 注意** セパレーターを急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがすときアプリケーションフィルムを強く曲げると、アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがした後は、アンテナに触れたり物を当てたりしないでください。皮膚が傷つくとアンテナが貼り付かなくなります。

- フィルムアンテナとアンテナコードの組み合わせについて**
 - フィルムアンテナとアンテナコードの組み合わせ、貼り付け位置は決まっています。
 - フィルムアンテナには4種類の2種類があり、アンテナコードにもU1/U2/U3/U4の4種類があります。



実際の作業を行う前に「取付完成概略図」を参照しフィルムアンテナとアンテナコードの組み合わせを確認し、決められた貼り付け位置に取り付けを行ってください。正しい組み合わせ、取り付けを行わないと、受信性能の劣化につながります。

- アンテナの貼り付け位置を確認する。
 - フィルムアンテナをセロハンテープで仮止めする。
 - 取付完成概略図を参考に、アンプがフロントウィンドウ内におさまる位置にフィルムアンテナを仮止めします。このときアンプは、できるだけ車体に近い位置に貼り付けてください。
 - フィルムアンテナの貼り付け位置をセロハンテープ等でマーキングする。

5 アンプをフィルムアンテナに取り付ける。

- アンプ裏面(給電端子部)の保護シートをはがす。
<アンテナコードアンプ部裏面>
給電端子部
 - アンプの突起部を、フィルムアンテナの目印に合わせて貼り付ける。
 - 給電端子は正しい位置に貼り付けてください(端子のズレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません)。
- <フィルムアンテナBの場合>
-

6 配線および内装部品(内張り等)を元に戻す。

- アンテナコード番号を確認し本機背面の決められたアンテナ端子へ接続する。
 - アンテナコードは必ず決められたアンテナ端子へ接続してください。詳しくはフィルムアンテナ接続図を参照してください。
 - 正しい接続を行わないと、受信性能の劣化につながります。
- 付属のコードクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品(内張り等)を元に戻す。

- 注意** 天井等の内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 配線作業時は給電端子に負担を掛けずにください(給電端子をささえながらコードの配線を行ってください)。
- 引き回しに余ったアンテナコードは、他機器の近くには置かないでください。受信性能の劣化がおきる場合があります。

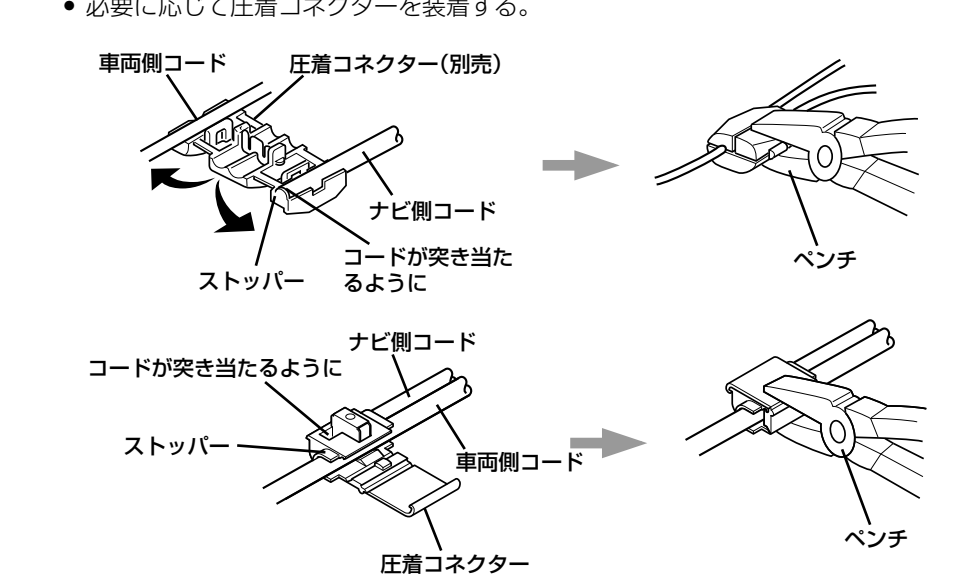
4. 接続する 接続することによりOKに√点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は奥までしっかり差し込んでください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご購入となり、作業を進めてください。

注意 ● 正しい接続をする。正誤の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。接続しないコードは、絶縁テープを巻く等の処置をしてください。

2 車両ハーネスを確認する。



3 接続する。

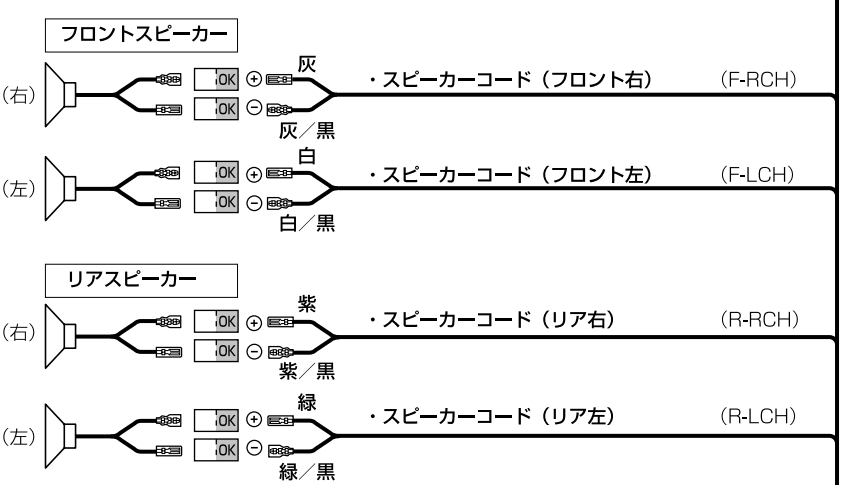
基本接続図およびシステム別裏面を参照してください。

基本接続図 接続する製品の取扱説明書および取り付け説明書も合わせてご覧ください。

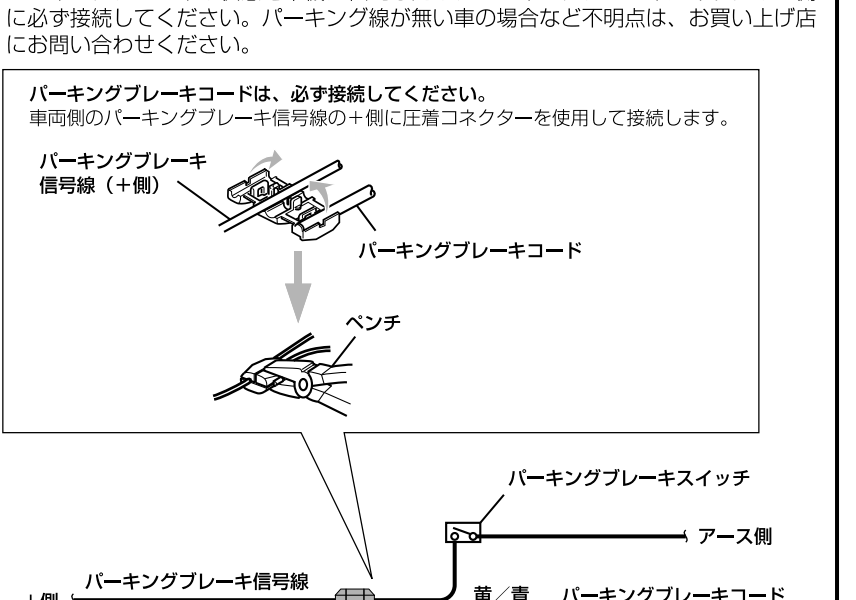
X800には電源コードは付属していません。
X800D以上の車種は、「BIG X」(フェクトフィット)に同梱されている電源ケーブルまたは、別売の下記電源コード (KCE-X08B) をご使用ください。

■ X800・700D (共通) : 別売の電源コード (KCE-X08B) を使用する場合

- ・**パワーアンテナ・ブースターコード**
車のパワーアンテナコードまたはアンテナブースターに接続します。ブースターが作動している場合は必ず接続してください。接続を怠るとラジオの受信状態が極度に悪くなります。
- ・**ACC電源コード**
ACC電源で電源が供給されるコードに接続します。
- ・**バッテリー電源コード**
常に電源が供給される (バッテリー電源プラス) コードに接続します。
- ・**アースコード**
車のシャーシの金属部分に確実に接続してください。不十分だと騒音や動作性の原因となります。
- ・**リバースコード**
車のバック時に自動音量調整を行うために、車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。
- ・**リモートコントロールコード**
リモートコントロールコードを使用します。本機の電源ON/OFFとアンテナなどの周辺機器のON/OFFを制御できます。



■ パーキングブレーキコードについて

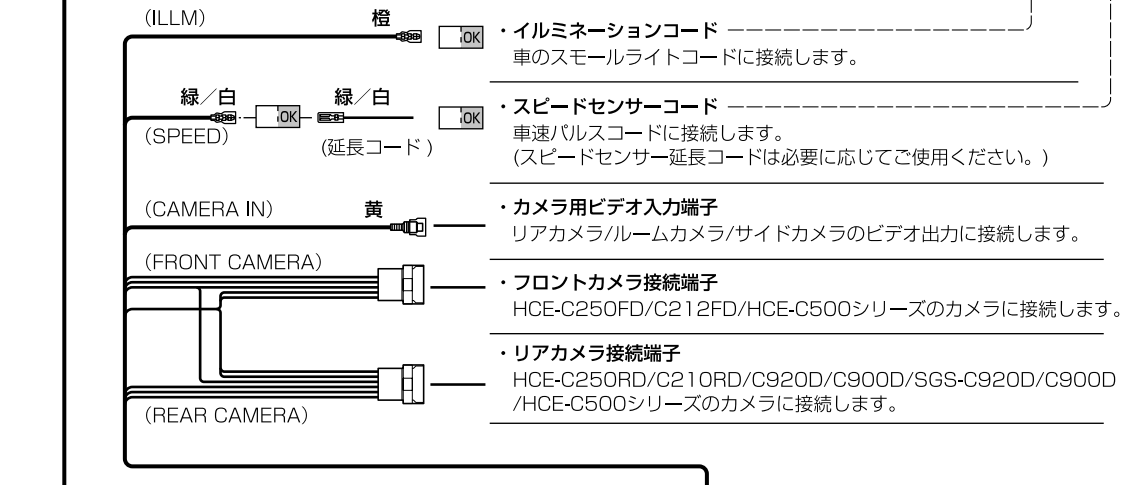
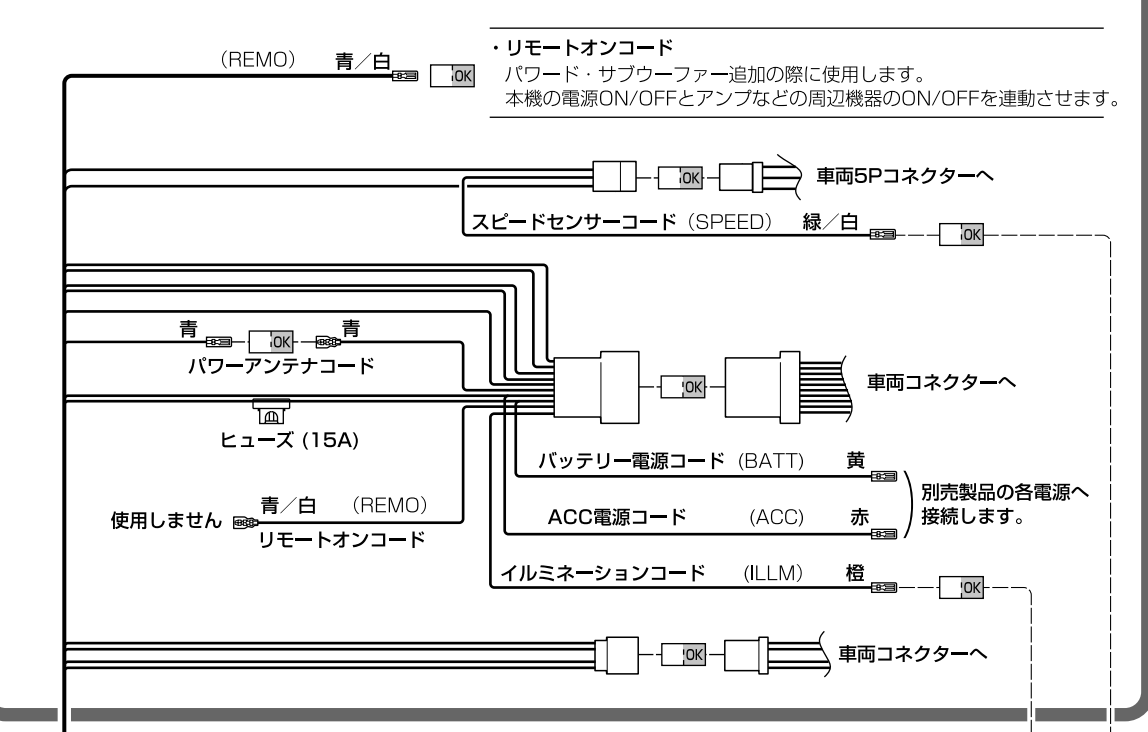


■ コード類について

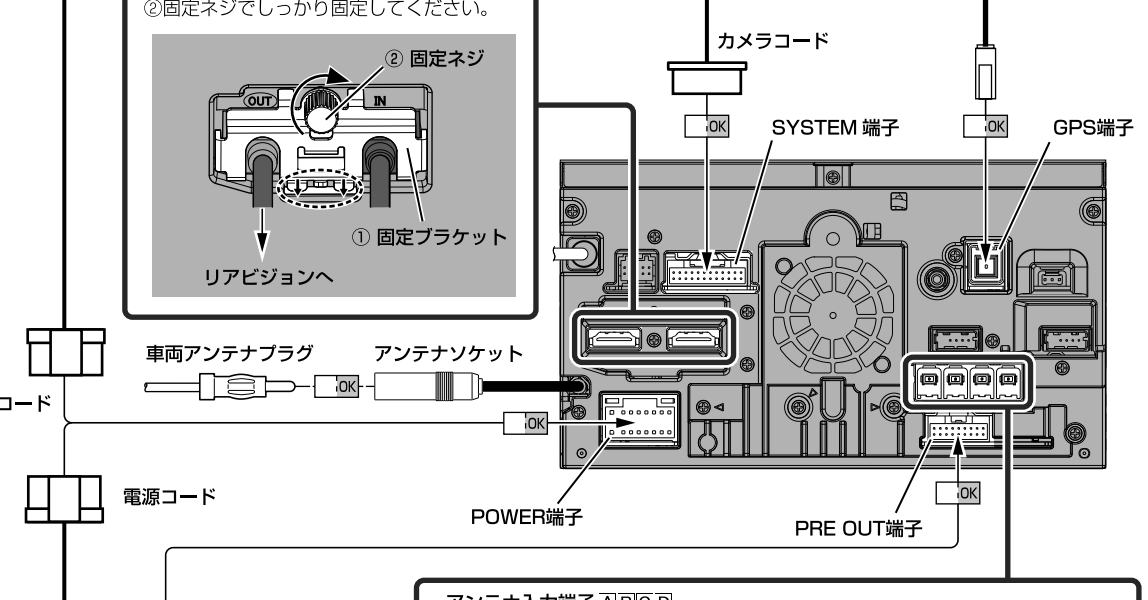
コード名	補足説明
スピーカーコード	スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが32Ω-8Ωのものを使用してください。
リバースコード	接続する車のバック時に自動音量調整が向上します。リバース (バック) に連動して、音量アップが実行されるようになります。リアカメラ映像時は、シフトレバー (バック) (R) に連動して、リアカメラの映像を自動制御します。
スピードセンサーコード	車速情報取得のために車速センサー (車速センサー) を使用して、車速 (km/h) を検知し、音声案内やナビゲーションに活用します。
パーキングブレーキコード	パーキングブレーキの状態を本機に伝えます。
リモートコントロールコード	本機の電源ON/OFFとアンテナなどの周辺機器のON/OFFを制御できます。
パワーアンテナコード	エンジンキーACC ON/OFF時に連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。
ACC電源コード	エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。
バッテリー電源コード	エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。
イルミネーションコード	ステアリングホイール周辺のイルミネーションの明るさを調整します。

■ X900/700W

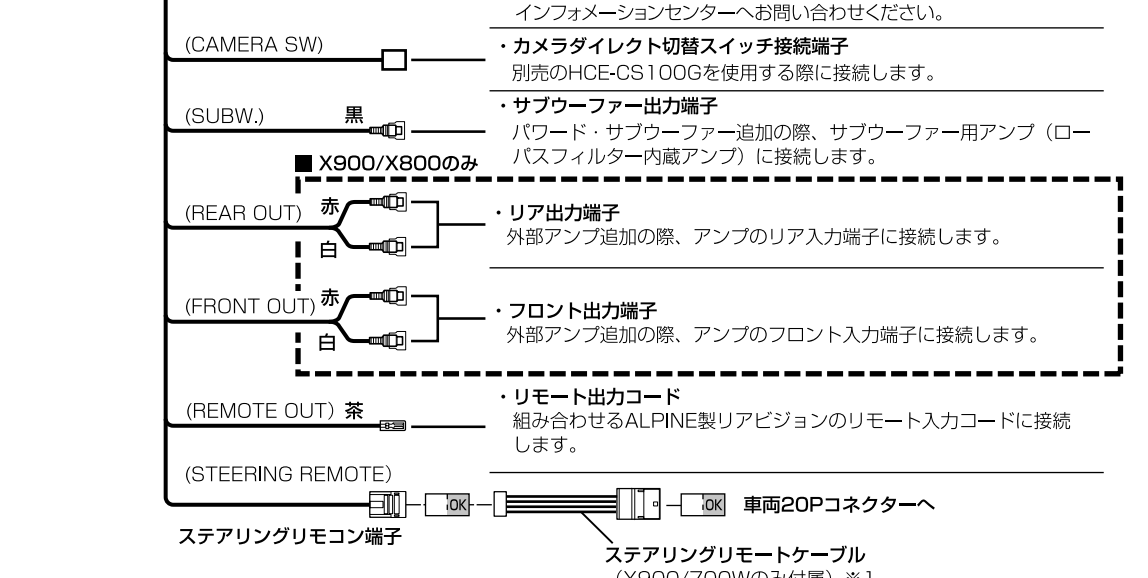
この接続図は X900/700W 付属の電源コード (トヨタ/ダイハツ車用) を使用した場合の接続例です。取り付ける車種によっては、変更ケーブル等別途必要になる場合があります。



<HDMI 端子設定方法>

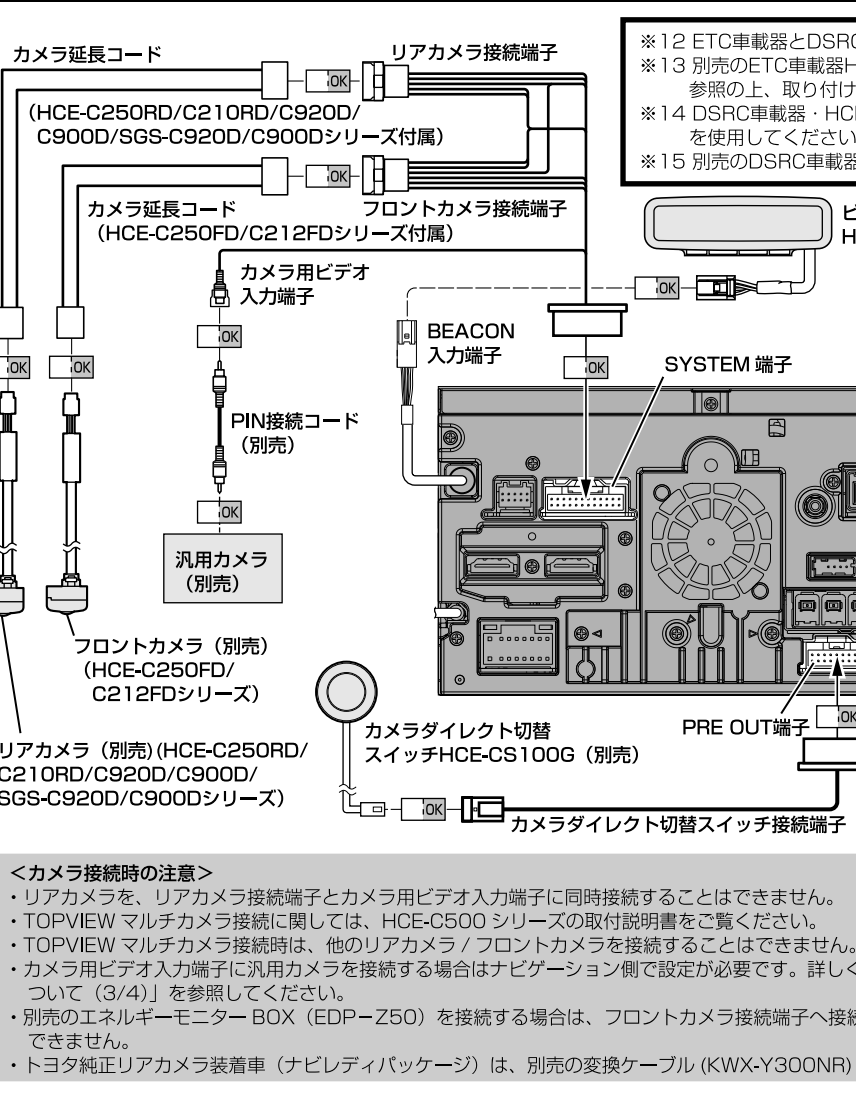


■ アンテナ入力端子 A1/A2 (B)



※1 トヨタ/ダイハツ車以外および X800/700D お買い上げのお客様は、「BIG X」用 (フェクトフィット) に付属または別売のアンテナアンプ/アンテナケーブル/アンテナコネクタを別途ご用意ください。
※2 アルパインホームページをご覧ください。http://www.alpine.jp/

カメラ/ETC車載器/DSRC車載器/ビーコンユニットを接続する



5. ナビゲーション本体を取り付ける

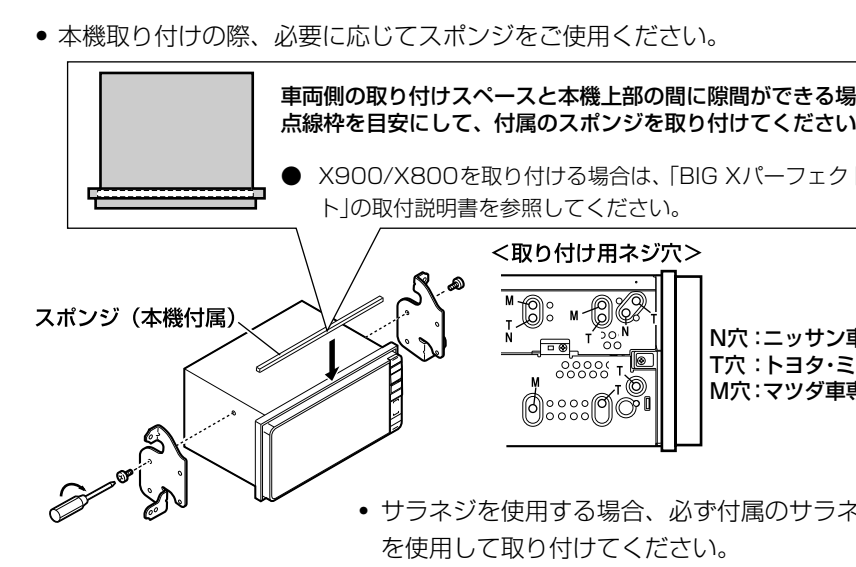
ナビゲーション本体取り付け時のご注意
● 車内の温度が低い (10℃以下) の場合は、本機が正常に動作しない場合があります。室温にってからお使いください。
● 本機は精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。

注意

- 通風孔をふさいでください。通風孔をふさいでください。通風孔をふさいでください。通風孔をふさいでください。
- 通風孔に強い力を加えないように注意してください。破損の原因となります。
- 取り付けの際、通風孔の開口部にハンネ等を巻き込まないようにご注意ください。

1 ディスクまたはSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

2 ナビゲーション本体にブラケットを付属のバンドネジ (M5×8) でしっかり固定し車両にしっかり取り付ける。



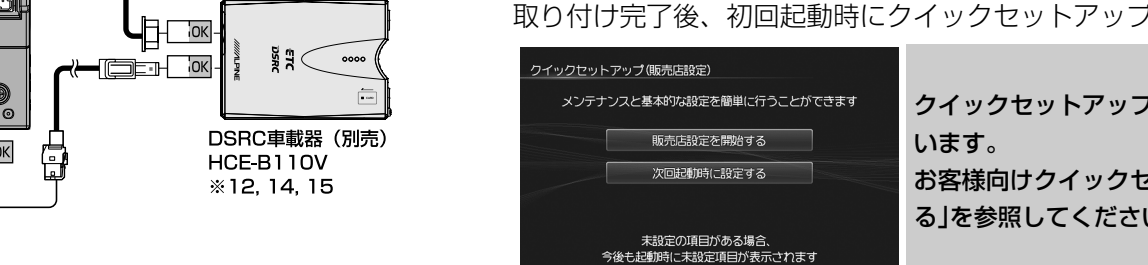
3 パネル (インパネ) を取り付ける。

- アースコードを車体の金属部分に確実に導く。 (ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離らす。
- バッテリー電源コードとPINコードは離らす。
- トイズサブレッサーを使う場合はできるだけ本機から離らす。

6. 確認する

- 1 コード類を固定する。
シートレール等の可動部にはさみ込み、または突起部に当てる等コードを傷めないように注意して固定してください。
- 2 バッテリーマイナス端子を接続する。
- 3 エンジンキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
- 4 ホーン (クラクション)、ストップランプ等の車両電装品が正しく動作することを確認する。

7. クイックセットアップ (販売店設定) を行う



■ クイックセットアップ (販売店設定) で設定する項目は次の通りです。

- 【車種専用チューニング】: お客様の車両に合った音質・画質・カメラガイド・サブワウファー接続・ステアリングリモコン設定を自動的に設定します。
- 【販売店設定】: 取り付けられた販売店の位置情報を登録することができます。
- 【メンテナンス】: オイル交換時期やタイヤ交換時期をお知らせする設定ができます。
- 【カメラダイレクトキー設定】: 別売のカメラダイレクトキー (HCE-CS100G) の接続設定を行います。

ここでは、販売店向けクイックセットアップの設定方法の流れを説明します。各設定項目およびお客様向けクイックセットアップの詳細な設定方法については、取扱説明書「1.1 初期設定」または「6.10 車種専用チューニング画面について」項目を参照してください。

クイックセットアップを行う前準備

ナビゲーション対称リアビジョンが接続されている場合、リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン側を [ナビ] に設定してください。

1 クイックセットアップ (販売店設定) 画面の「販売店設定を開始する」にタッチする。

車種専用チューニング画面が表示されます。

2 車種専用チューニング画面の「設定する」にタッチし、車種/接続機器の各設定を画面の指示に従って設定してください。

設定完了後、**次へ** にタッチすると販売店設定画面が表示されます。

3 販売店設定画面の「設定する」にタッチし、地図から電話番から住所からのいずれかから方法で販売店登録を行ってください。

設定完了後、**次へ** にタッチするとメンテナンス設定画面が表示されます。

4 メンテナンス画面の「設定する」にタッチし、オイル交換時期やタイヤ交換時期・車検時期等各項目を設定します。

設定完了後、**次へ** にタッチするとカメラダイレクトキー設定画面の「設定する」にタッチし、カメラダイレクトキー設定を行います。

5 カメラダイレクトキー設定画面の「設定する」にタッチし、カメラダイレクトキー設定を行います。

設定完了後、**次へ** にタッチすると販売店設定画面が表示されます。

6 販売店設定画面の「設定する」にタッチし、地図から電話番から住所からのいずれかから方法で販売店登録を行ってください。

設定完了後、**次へ** にタッチするとメンテナンス設定画面が表示されます。

7 販売店設定画面の「設定する」にタッチし、カメラダイレクトキー設定を行います。

設定完了後、**次へ** にタッチすると販売店設定画面が表示されます。

8 販売店設定画面の「設定する」にタッチし、カメラダイレクトキー設定を行います。

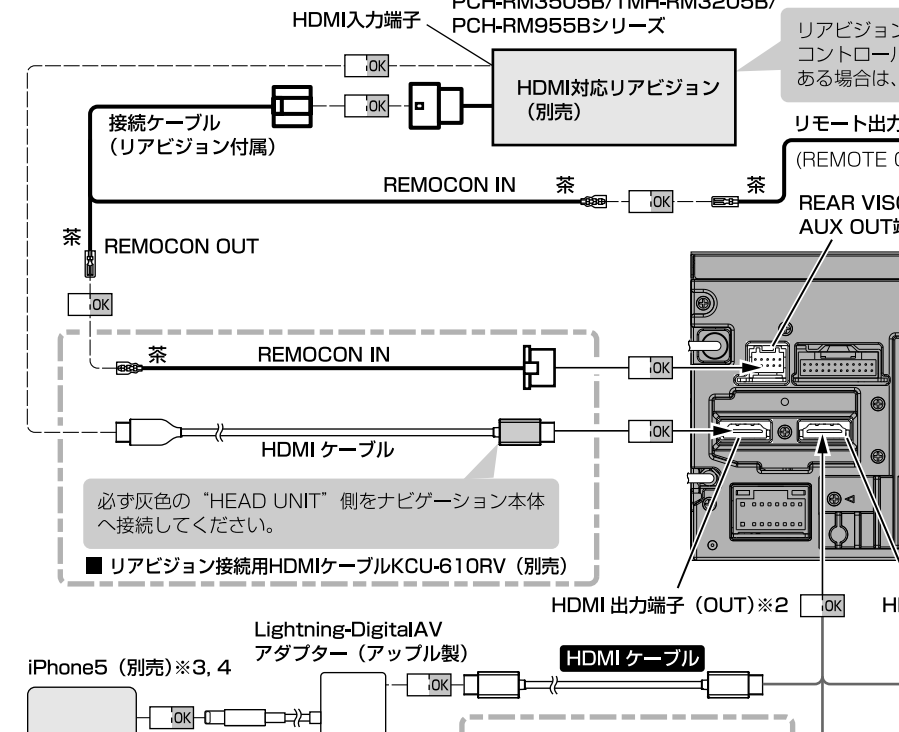
設定完了後、**次へ** にタッチすると販売店設定画面が表示されます。

9 販売店設定画面の「設定する」にタッチし、カメラダイレクトキー設定を行います。

設定完了後、**次へ** にタッチすると販売店設定画面が表示されます。

リアビジョンをHDMI接続する/ iPhoneまたはスマートフォンなどと接続する

■ HDMI対応機器について
フルハイビジョンHDMI対応リアビジョンを取り付ける場合は、リアビジョン付属の接続ケーブルと、リアビジョン接続用のHDMIケーブル (KCU-610RH) が必要です。 (詳しくはリアビジョン側の取扱説明書を合わせて参照してください)



リアビジョンを接続する

リアビジョン接続について、詳しくはリアビジョン側の説明書を合わせて参照してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ リアビジョン接続ケーブル (KCU-610RH) を使用する接続方法

リアビジョン側のシステム設定に [オーディオコントロール/プラスマスターコントロール] 設定がある場合は、必ず [ナビ] に設定してください。

■ HDMI対応機器について

本機へHDMI対応機器を接続する場合は、それぞれHDMI端子タイプに対応した別売の接続ケーブルが別途必要です。複数のHDMI対応機器を同時に接続することはできません。別売の接続ケーブルには「USBケーブル」または「HDMIケーブル」が用意されており、それぞれ別々に接続します。

■ HDMIケーブルについて

いずれの「USBケーブル」または「HDMIケーブル」を使用し、HDMI対応機器を正しく接続して使用することができます。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。

■ HDMIケーブルは接続停止した端子をキャップを付けた状態で保管してください。

・iPhoneやスマートフォンなどの外部接続機器は車の中に取り付けておかないでください。車内での使用による故障の原因となります。